

しょうわ 議会だより

第19号

平成14年

1月25日

12月定例議会



▲第44回成人式

おもな内容

12月定例会で決めたこと (2~5ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (11ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (13ページ)

18人から16人に削減



▲12月定例会より

12月定例議会は、12月10日から14日までの5日間の会期で行いました。

一般会計補正予算を含む議案15件、議員定数削減発議が上程され、13件が全員賛成、その他3件は賛成多数で原案とおり可決しました。

議員定数が16人になります

(賛成多数・反対1人)

12月10日（月）

本会議

農業耕作特別委員会

全員協議会

昭和村の議員法定数は現在22人ですが、平成15年1月1日から上限数が18人となります。

この社会情勢を考え、昭和村の活性化を図り、「活力ある・魅力あるふるさと昭和村」とするため、議員自ら議会のスマ化を進め、議会の活性化を図り、住民参加の村づくりを推進することが必要であると考えます。このような趣旨から賛成多数で可決しました。

賛成討論

議員定数削減は、全員協議会で何度か検討してきました。

県内70市町村の中で、本村と同じくらいの人口800人前後の町村は、議員定数16人が多いようです。

反対討論

全国で市町村合併の論議がされている中、将来に禍根を残さないよう判断をする次期4年間は大変重要であると思います。住民の意見を正しく反映するためにも、上限

市町村合併の問題があり、18人で慎重に審議する方が良いという意見もあります。また区長会の有志という形で議員定数削減の要望も出されました。この様な気運の時期であり、財政的にも2人の削減で相

議会日程

12月10日（月）

本会議

農業耕作特別委員会

全員協議会

総務委員会
(ライフル別撃場
視察)

民生文教委員会

産業建設委員会

12日（水）

13日（木）

14日（金）

本会議



12月定例会

議員定数を

期末手当〇・〇5%カット

（全員賛成・ただし
議員の給与については、
反対1人）

平成13年11月の人事院勧告により、議員、常勤の特別職、職員の期末手当等をカットします。

内容は、期末手当のうち12月支給分を〇・〇5

ヶ月引き下げるものです。

Q 11月の臨時国会で育児介護休業法の改正が可決されました。本村では、いつこの改正案を提出するのですか。

A 総務課長

その件は、後日調査して報告します。

Q 市町村によつては、村民のみならず、親族、家族の資産も公開し、積極的に行つてゐる自治体もあれば、本村のように最年少の内容の条例しか整備をしていない自治体もあります。

住民に解りやすい公開をして欲しいと思います。今回の改正を村長はどう考へていますか。

（賛成多数・反対1人）

券の株数及び額面金額の区分を廃止した商法を、今後は株数のみとするようになりました。

株式に関して額面無額面の区分を廃止した商法の改正により、村長の資産等の報告書の記載事項にある、保有する有価証券

当な経費が減少します。そういった中で、本村の人口が増えた場合には、

定数を増やすことも可能ですが、この削減に賛成します。

が、それぞれの市町村長の不正を防止する意味で、この削減に賛成です。この削減に賛成です。

が改訂されたことでの条例の改正をしなければならないのですか。

この条例は平成7年に制定されており、その商法が改訂になつたので、本村も改訂といふことであります。

が、これまでの市町村長の不正を防止する意味で、この削減に賛成です。

今までの公表だとなくて、株数の公表だと

ことです。
いつ」とやうの、そろ
者まで提案しました。

村長の資産等公開条例を

改正

職員の派遣条例を制定

（全員賛成）

村の事務または事業と密接な関連のある特別な法律に基づき設立された「昭和村社会福祉協議会」と「昭和村土地開発公社」には、職員としての身分を保持したまま派遣し、その業務に専従させます。また村が設置して設立された特定法人の株式会社である「利根昭和インター・エンジニアリング株式会社」には、職員を追従させ、その業務に専従させることがあります。

職員の派遣期間は3年で、給与・退職手当の支給及び弁済組合の適用等を含めた派遣の条件と勤務条件を規定しました。



▲昭和 IC周辺

こういうことが 決まりました



学校用地を取得

(大河原
小学校)

(全員賛成)



▲大河原小学校校庭

大河原小学校の校庭整備に伴い、隣接する山林を購入します。

A 教育長
他の目的で利用することはありません。

沼田市との境界を変更

(全員賛成)

利用できるものかどうか。今後は、子供たちや地域住民の方たちが自由に自然にふれあえる場所として整備していきたいと思っています。

沼田市の下久屋共同施行地内の土地改良事業に伴い、地区内の土地の区画と形状を改めました。変更地域は次のとおりです。



編入面積表

市町村名	編入面積			合計
	田	畠	道路	
沼田市	m ² 1,866.26	m ² 95.13	m ² 84.79	m ² 2,046.18
昭和村	m ² 1,618.17	m ² 419.66	m ² 8.35	m ² 2,046.18

戸別浄化槽条例を改正

監査委員に松井氏

昭和村監査委員 吉澤安治氏が平成13年12月20日に任期満了のため、その後任として、松井源之助氏が選任されました。



松井源之助氏
(滝寺 66歳)

一般会計 補正予算



佐々木富治氏
(松ノ木亭第2
70歳)

昭和村公平委員 竹内幸雄氏が平成14年1月13日に任期満了のため、その後任として、佐々木富治氏が選任されました。

公平委員に佐々木氏



佐々木富治氏
(滝寺 66歳)

規約を変更

群馬県市町村総合事務組合
(全員賛成)

小中学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師の公務上災害発生した場合の被恤事務を、平成14年4月から群馬県市町村総合事務組合で共同処理することになりました。

A 村長

当局及び議会にお世話になり、検討委員会、実行委員会で検討したいと思います。使用方法はまだ未定です。

Q 住民基本台帳システムの中間サーバーの費用が多額ですが、内容を伺います。

主要な内容は、学童保育に伴う施設整備、錦沢地区及び阿曾地区の土地改良に伴う道路整備、また

(全員賛成)

昭和インターの株券の処理に伴う顧問弁護士委託料等です。

A 住民課長

住民基本台帳ネットワークシステムを立ち上げるための機器です。

Q 前林秀英村長の報酬に伴う報償費20万円の内容を伺います。

Q 福祉センターの水中ポンプの修理、浴室等の改修工事に500万円計上されていますが、内容を伺います。

A 総務課長

今後、報酬に伴うお祝い等があると思います、その費用として提案しました。

Q 村長から議員も協力して祝賀会を催したいと話がありましたが、祝宴費用ならば報償費では項目が違うのです。また祝宴の内容を伺います。

A 保健福祉課長

水中ポンプは2台あり、1台は不測の事態に備えた予備のものです。

今回電圧が下がったための修理と、浴室の壁がはがれた所や腐食した部分を修理します。

Q 犀牛病関係では、村独自での対策はしないのですか。

A 産業課長

県で救済条例ができるまで、本村では、その条例の基準どおりに実施しています。

簡水会計

(全員賛成)

歳入・歳出それぞれ3
8万7千円を追加し、予

算総額2億1445万3
千円となりました。

主な内容は、歳入では
消費税還付金が増額とな
り、歳出では財産購入

費、借貸料及び賃貸金
が増額となりました。

農集排会計

(全員賛成)

歳入・歳出それぞれ3
23万7千円を追加し、
予算総額5億2257万

歳入・歳出それぞれ8
0万円を追加し、予算総

額41億9162万円と

り、歳出では糸井三ツ谷地
区・畠和南地区の汚水処理
場が本格稼動し電気料が
不足したための増額です。

補正予算（一般会計）

(賛成多数・反対1人)

なりました。

主な内容は、市町村合
併に関する調査費です。

臨時議会

平成13年第19回昭和村臨時議会は、平成13
年10月31日に開催しました。

発議

沼田市岩本町地内に建設計画のある

産業廃棄物処理施設建設に反対する

意見書

(全員賛成)

沼田市岩本町に建設計
画のある産業廃棄物処理
施設には、計画地に隣接

する水井及び入原行政区
が2ヶ月間、給与を10
0分の10減給し、その

責任を問うものです。

大変迷惑をおかけした
事件で、住民の皆さんに
不満事で、任命権者として
て村長が3ヶ月間、助役
を受けました。

この2点に重点を置
き、関係する沼田市にも
反対を要望する内容と
し、許認可を持つ県知
事、関係する沼田市長、
赤城村長に意見書を提出
しました。



▲産業廃棄物処理施設建設予定地附近の道路

から請願書が、農業委員
会からは建議書が、また
区長会及び市議会利用組
合等、各団体から陳情書
が寄せられ、この陳情書
には本村のほぼ全世帯の
反対署名が添付されています。
村議会では、全村民の
意向を受け、産業廃棄物
処理場の建設に絶対反対
を表明しました。

・農業立村としてのイメ
ージダウンが村経済に大
きく影響し、重大な悪影
響を及ぼすことが懸念さ
れること。

・醜化地を多く抱える利
根沼田地域の玄関口であ
ることから、利根沼田地
域全体のイメージダウン
につながること。

・沼田市にも

反対を要望する内容と

し、許認可を持つ県知

事、関係する沼田市長、
赤城村長に意見書を提出
しました。

「こんにゃく産業安定化に 関する意見書」



▲1つ1つ大切に（こんにゃく掘り）

（全員賛成）

こんにゃくは、本村にて日本一の生産量を誇る重要な特産物です。現在、こんにゃくの原料の偽装及び不正輸入が激増し、生産農家に重大な影響を与えています。

ただちに監視体制を強化し、農家の経営を守るために、関係機関に意見書を提出しました。

農林関係予算の確保に関する 意見書



▲早急な解決を求める（狂牛病問題）

（全員賛成）

本村は、2500ヘクタールと広大な農地を有し、首都圏の生鮮野菜の供給地として一翼を担っています。

農業の効率的、安定的な経営体を築くため、農

村の環境づくりの促進、活力ある農村づくりを推進するため、農村の基盤整備の一層の促進を盛り込み関係機関に意見書を提出しました。

今、日本中で騒がれている狂牛病は、いまだ原因究明ができず、消費者の不安はつのり、畜産農家等の畜産関係者は大打撃を受けています。



▲出荷最盛期（シクラメン）

狂牛病（牛海绵状脑症）対策の 強化に関する意見書

（全員賛成）

この問題の早期解決と支援措置を要望する意見書を関係機関に提出しました。

総務委員会

本委員会は12月11日、

視察しました。

12日に開催し、慎重審議

ライフル射撃場の建設

は、陳情書が提出されて

しました。

松ノ木平第一住民セン

タービル建設に関する陳情

では、現地調査を行った

結果、現在の住民センタ

ーは老朽化しているた

め、住民センター建設補助事業補助金交付要綱の

範囲内で実施するようお

願いし、全会一致で採択

としました。

主要地方道昭和インターナ

ー線速度規制改定の陳情

では、現地調査の結果、

昭和インターチェンジに接続する道路にも係わら

ず、制限速度が40キロで

あり、速度制限を登坂車線から昭和インターチェ

ンジまでの区間を50キロ

に改定するよう関係機関

に働きかけるようにお願

いし、全会一致で採択と

しました。

12月12日は、埼玉県長

瀬町と安中市の射撃場を



▲埼玉県ライフル射撃場

式で県・西武鉄道・その他数社で設立し、資本金は約70億円です。

利用者も現在では減少傾向にあり、年間800

0万円くらいの利用料金の収入があります。

しかし、周辺地域では、クレー射撃の弾による鉛公害が出ています。

安中射撃場は、周辺地

域から騒音の苦情が出ており、現在は防音対策を考えています。

また、ライフル射撃場建設も要望があるならば、県でも建設を検討す

ます。ただし、今回の段階では無理だろうというこ

とであり、今回では結論を出すことができず、総括審査となりました。

民生文教常任委員会

本委員会は12月12日に開催し、慎重審議しました。

30人学級の具体化についての請願、教育の充実を求める請願では、本村でも少子化が進み、学級が減少していることから、全会一致で趣旨採択としました。なお、本村の対策として学校区の変更を検討すべきとの意見もありました。

公立高校教職員の定員確保についての請願では、現在必要人数が確保されていることから全会一致で不採択としました。

宗教団体集会施設建設に反対する陳情では、関係地域56人の署名が添えられており、審議の結果、住民の熱意が伝わり、農業委員会に提出し

各種医療保険制度と介護保険、老人医療に関する請願2件は、老人医療対象年齢の引き上げ等、医療費の負担軽減をやめて欲しいという点から趣旨採択としました。

緊急地域雇用特別交付金事業の改善と継続を求める請願では、この請願の趣旨が実現されることから全会一致で採択としました。

宗敎団体集会施設建設に反対する陳情では、関係地域56人の署名が添えられており、審議の結果、住民の熱意が伝わり、農業委員会に提出し

活用して実施すること

が昭和村の2倍とはい

て合意。

WTO交渉に向けた意

思、28億8千円もの

見書の採択を求める陳情

建設費には驚きました。

WTO交渉において

締めて埼玉県本庄市と

木材などの生産供給だけ

県主導4町1村で構成す

て農林業分野では貿易や

建設費には驚きました。

木材などの生産供給だけ

する広域事務組合を訪ね、

地の今後の活用を検討

美里町にあるクローズド

地調査し、森林公園予定

システム最終処分場を視

察しました。

ごみ対策で板倉町と

地の今後の活用を検討

児玉郡市広域圏を視察

し、營農飲食用水事業で

は、道路が必要以上に沈

んでいる部分を早急に改

修するよう当局に要望し

ました。

児玉郡市では、平成2

年から持ち回りとし、人

口の多い本庄市を最初に

木の安全対策の強化

量等推進審議会と合同に

等の趣旨に賛同できると

よる視察研修を実施。

して、全会一致で採択と

板倉町では、ごみ回形

しました。

燃料化施設と生ごみ堆肥

付近の望郷ライン工事、

順々に設置してきた経過

は、道路が必要以上に沈

について説明を受けまし

んでいる部分を早急に改

た。なお、被覆型は、埼

玉県内でも1カ所しかな

いとのことです。

▲学校空教室を利用した学童保育所（高崎市）



ていた申請が取り下げられたこと等を参考、全会一致で採択としました。

児童生徒の通学の安全対策に関する要望では、PTAと教育委員会で必

要箇所を考慮し提出されており、整備が必要と認め全会一致で採択としました。

9月18日、村学童保育等検討委員会と合同による視察研修を実施。

藤岡市では、公設施設を視察。今後、公設を見館と併設で4カ所まで増やす計画とのことでした。

高崎市では、2カ所を訪ね、実際に子どもたちの現状を視察しました。

視察後、検討委員会を開き「東小の余裕教室を

この県産材を利用する

産業建設常任委員会

本委員会は12月13日に

ことは、伐採・植林育成

開催し、慎重審議しました。

県産材の利用推進に関

する陳情ですが、木材は

確保、また、地域の活性化につながることから、

化につながることから、

公共施設等の本造本質化

を推進するよう当局にお願いし、全会一致で採択

としました。

学童保育事業等で藤岡市と高崎市を視察

開き「東小の余裕教室を

この県産材を利用する



▲望郷ライン工事現場を視察

全員協議会から

▽12月10日

産業再配置促進補助事業
について

産業再配置促進補助事業の経過報告がありました。昭和村と企業とが共生して利用できる施設の検討を今後も続けることになりました。

学童保育所を東小学校に設置します

念願の学童保育所を、東小学校の空き教室に設置することになりました。この学童保育所は、来年度から開始する予定です。

農集排特別委員会から

▽12月10日

永井入原地区汚水処理場の外観とフローシート

について説明があります

産業再配置促進
補助金って？

工業団地等に企業が移転または新增設した場合、地方公共団体に交付される補助金。

企業と地域の共生を図り、産業の再配置を促進することを目的としています。



▲研修会

市町村合併研修会

12月21日

市町村合併は
本当に必要なのか

12月21日、市町村合併について議会・村議員合同で研修会を開催しました。

講師に、群馬県町村議会議長会事務局長の長岡治二氏を迎え、市町村合併の現状と課題を研修しました。

市町村合併は、明治の大合併、昭和の大合併を経て、現在、平成の大合併と言われ日本中を騒がせています。

そこに住む人々が住みやすく、活力のある、住民主体の社会を作るためには、市町村合併が本当に必要なのか、国の推進する市町村合併のその先には何があるのか、まだ手探りの状態ですが、今後も研修・論議を重ね、住民の皆さんと一緒に、この問題を考えていきたく思っています。

ここが聞きたい

村の姿勢を問う



林 幸司議員

**保険証は
無条件で交付を**

医療費の本人負担分は村
が負担するべきと思いま
す。また、もう少し大き
な保険に入れる援助等、

今後の労災の改善対策を
同様に

A 村 長



**Q 国保税滞納者対策と
して、1年以上国保税を
滞納している世帯の保険
証の返還を求め、代わり
に資格証明書を発行する
としていますが、資格証
明書の発行は行わず、保
険証を無条件で発行する
よう要求します。**

**シルバー人材センター
の労災対応は**

いる世帯には、状況を把握し、短期保険証切り替えなどの説明を行い、本人の理解を得て収納回上に結びつけたいと考えています。

A 村 長

国保税滞納者対策とし
て短期保険証に加え資格
証明書の発行を実施した
いと思います。滞納して

中でシルバー人材派遣セン
ターの会員が草刈り機
で足を負傷する事故が起
きました。

村の雇用責任を認め、

**Q 廉價金廃止により、
どのような改善がされた
のか、また納税組合を通
じた納税方法の推移と現
状を伺います。**

A 村 長

行政区コミュニティ
補助金に改善しました。
補助金交付額は、世帯
割りと人口割りになります。納税方法は、12年度

**Q 納税は
壳納報奨金廃止後の
建設残土の投棄規制は**

建設残土は請負業者の
責任により適正処理する
場合を除き、ストックヤードに搬入するよう指導
しています。

問題点と今後の対応で
すが、大雨による災害が
心配されますが、現在、
本村の条例では規制する
ことができません。

しかし、調査検討し、
建設業者に災害の防止を
指導し、今後は盛り土条
例の制定を検討したいと
考えます。

シルバー人材派遣セン
ターと発注者の関係は、
請負または委託となり、
雇用関係ではありません。
会員が仕事中に負傷
した時、健康保険証で治
療を受けることができ、会
員が安心して働けるよ
う、シルバー人材団体簿書
保険に入っています。

今後はもう少し大きな
保険に入ることを検
討中であり、今回のように
危険な機械を使用する
場合は、十分注意するよ
う指導していきます。

**Q 廉價金廃止により、
建設業者は請負業者の
責任により適正処理する
場合を除き、ストックヤ
ードに搬入するよう指導
しています。**

問題点と今後の対応で
すが、大雨による災害が
心配されますが、現在、
本村の条例では規制する
ことができません。

しかし、調査検討し、
建設業者に災害の防止を
指導し、今後は盛り土条
例の制定を検討したいと
考えます。

みなさんからの請願・陳情



至 平成13年11月28日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
111	H13.7.16	沼田市土木事務所移転後の跡地払い下げに関する陳情書	利根保健生活協同組合 理事長 合井和夫 他3名		総務	審議未了
113	H13.8.9	ライフル射撃場整備についての陳情書	群馬県獣友会 会長 藤井輔二郎 他2名	諸田貞治 吉野藤彦 古澤昇 横坂正章	総務	継続
117	H13.8.27	「30人学級の具体化をすすめ、公立高等学校の学級削減・統廃合をやめ、地域の高校としての存続と充実を図ることを求める」意見書採択についての請願	群馬県高等学校職員組合 執行委員長 嶋津良夫 他1名	林幸司	民文	趣旨採択
118	H13.8.27	「公立高等学校教職員の正規定数確保と新規採用者の拡大を求める」意見書採択についての請願	群馬県高等学校職員組合 執行委員長 嶋津良夫 他1名	林幸司	民文	不採択
122	H13.10.22	松ノ木平第1区住民センター建設に関する陳情書	松ノ木平第1区長 角田桂一 他2名	古澤昇	総務	採択
126	H13.11.13	各種医療保険制度と介護保険制度の充実を求める請願	利根沼田大連動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他2名	林幸司	民文	趣旨採択
127	H13.11.13	「緊急地域雇用特別交付金事業」の改善と継続を求める意見書提出の請願書	群馬県高齢者雇用福祉 事業団 理事長 大島泰治 他1名	林幸司	民文	採択
128	H13.11.13	教育の充実を求める要請書	国民大運動利根沼田 実行委員会 委員長 木村朝次郎他1名		民文	趣旨採択
129	H13.11.13	国民本位の景気回復を求める請願	利根沼田大連動実行委員会 代表委員 木村朝次郎 他1名	林幸司	総務	継続
130	H13.11.15	県産材の利用推進に関する陳情	沼田木材組合 組合長 大竹隆一郎		産建	採択
131	H13.11.20	主要地方道昭和インター線の走行速度規制の改定についての陳情	鎌沢区長 保坂新恵 他4区長	堤康泰 澤浦豊由	総務	採択
132	H13.11.21	国民本位の公共事業の推進と執行体制等の充実を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合 群馬県協議会 議長 渡辺万喜男		総務	継続
133	H13.11.26	宗教団体集会施設建設に反対する陳情書	川越区長 竹之内基一郎 他515名	藤井愛作 堤康泰	民文	採択
134	H13.11.26	安全対策に関する要望書	昭和村P.T.A連絡協議会 会長 林英一郎		民文	採択
135	H13.11.26	健康保険本人3割負担及び高齢者医療の対象年齢引き上げの中止を求める請願書	群馬県社会保障推進協議会 会長 野上恭道	林幸司	民文	趣旨採択
136	H13.11.26	「在日米軍地位協定」の見直しを求める請願	群馬県平和委員会 菊池定則 他1名	林幸司	総務	継続
137	H13.11.26	「WTO交渉に向けた意見書」の採択を求める陳情書	食とみどり、水を守る 群馬県民会議 議長 坂本棟男		産建	趣旨採択
138	H13.11.27	木製の児童生徒用机、椅子等の推進についての要望	群馬県林務部長 群馬県教育委員会教育長		民文	採択

手 話



林

恭子さん
(生年 57歳)

最近は子どもたちに手話や聴覚障害者についての学習をさせる小中学校が増えてるようです。テレビで手話を自にする機会も増えてきました。

昔は、世界中のどこでも手話はジェスチャーのみ

たいなもので簡単なことしか表現できないと思われていました。でも、1950年代の半ばに、アメリカにある世界で唯一のろう者の大学（ギヤローテット大学）で英語講師をしていたストーキー

昭和村と共に

須藤俊哉さん
(大河原 43歳)

私事ですが新年を迎え満43歳になりました。昭和村が発足した昭和33年、つまり私は昭和村と同級生ということになります。以来、昭和村は先輩たちの弛みない努力により順調な成長と発展を遂げてきました。

農業立村としての基盤を確保し、上下水道等ライフラインの近代化促進、昭和100開業を含む道路の整備など基本的な生活環境は大変便利になります。以来、昭和村は先輩として活動していま

ちきたい・知りたい みんなの声



がアメリカ手話を研究して、1960年に研究成果を発表して以来、日本国での手話の研究が進み、今では「手話は単なるジェスチャーや身振りではなく、英語や日本語と同じ自然言語なのだ」と考

たいもので簡単なことしか表現できないと思われていました。でも、1950年代の半ばに、アメリカにある世界で唯一のろう者の大学（ギヤローテット大学）で英語講師をしていたストーキー

私はこのところ手話という言語の魅力に引きつけられていて、手話を学んでいるおかげで私の人生がとても豊かになって

いると思います。

私はこのところ手話という言語の魅力に引きつけられていて、手話を学んでいるおかげで私の人生がとても豊かになって

いると思います。



鈴木勝美さん

(様久保北 61歳)

高齢化社会とボランティア

ボランティア活動に参

加して約6年がたちま

す。花植え、空き缶・ゴミ拾いなど、様々な活動がある中で最も楽しめなのが、お年寄りの食事作りです。一生懸命汗を流し手打ちしなうどんやそば、食べやすく工夫したおかずを用意し、お年寄りに食べてもらいます。

みんなに「おいしいよ」と声をかけてもらっただけで参加してよかつたとつくづく思います。

また、福祉施設の訪問では実際人所している方たちと接し、中には職員の仕事を手伝う元気なお年寄りもいました。とても

んで村に定着できるようになる発展への可能性と共に様々な課題もあると感じています。

また、福祉施設の訪問では実際人所している方たちと接し、中には職員の仕事を手伝う元気なお年寄りもいました。とても

お年寄りの住みよい環境への細かい心配りが感じられました。

今後この市町村でも高齢化世帯が多くなりつ

つある中、いかにお年寄りが生き甲斐を持つて安らぎのある生活をしていくかが重要ではないか

と思います。少しでも手助けができるほどと思い

ます。

また、福祉施設の訪問では実際人所している方たちと接し、中には職員の仕事を手伝う元気なお年寄りもいました。とても

お年寄りに一声かける運動等を通して、少しでも多くの方に理解していただけるよう努力していきたいと思います。

議会のうごき

11月

- 2日 第2保育園20周年記念式典
 3日 村内バレー大会
 6日 学校施設まわり
 9日 秋の道路巡視
 12日 議会だより編集
 ~13日 委員会視察研修会
 (栃木県都賀町議会)
 14日 第45回町議会
 議長全国大会
 (日本武道館)
 19日 議会広報研修会
 (前橋群馬建設会館)
 23日 東部5ヶ村ゴルフ大会
 (初穂CC)
 29日 議会運営委員会



1月

- 6日 消防団出初式
 9日 平成13年度群馬県トップセミナー
 (高崎シティーギャラリー)
 13日 第44回成人式
 17日 定例議長会
 18日 議会だより編集委員会



傍聴記

傍聴席



藤井貞充さん
 (永井下 51歳)

最近ラジオを聴いていたらおもしろい話をしていた。
 「今年、小泉首相になつたら、国会まで民営化してしまうたまつた」とのこと。

もちろん国会が民営化するはずがない。今まで国会は、NHKだけが放送していたが、

10日 12月定例議会
 ~14日 10日 農業特別委員会
 11日 農業常任委員会
 12日 農業常任委員会
 民生文教常任委員会
 13日 産業建設常任委員会
 19日 議会だより編集委員会
 21日 市町村合併研修会

しかし、本村の議会はテレビやラジオの放送があるわけではない。議会を直接見られるのは、傍聴席だけである。見る人が多くなれば、議会はもつと活発になるだろう。

私も先日、良い機会に恵まれ傍聴してきた。「ああ、こんな風にして、いろいろなことが解決していくのだな」と感じた。けれど現状は傍聴に行く人は極めて少ないようである。

議会の日程も土日や夕方から等の工夫が必要ではないかと思った。議会だけである。見る人が多くなれば、議会はもつと活発になるだろう。

そこで村民の関心を得るために。

編集室から

地方の時代と言われて21世紀が幕を開けたが、不況・リストラ・失業と先行きが見えない中、市町村合併という課題を突きつけられている。

多くの自治体が勉強会や研修会を開き、取り組み始めている。

かつて、明治・昭和の大合併があり、今、平成の大合併を強いられてゐる。

昨年10月、福島県矢祭町議会で「合併しない宣言」が可決した。

人口7000人の町の反対と総務省は慌てたとどうあるべきか、住民の意見・意思を尊重し、問題に向き合うときが目の前に来ている。

眞賢記

としておくと便利です